

ビジネスウェアに悩んでいる男女は約半数！年代別のお悩みシーンも明らかに 仕事服についての意識調査を実施、10月26日(木)よりnoteにて公開 ～共創コミュニティ「シン・シゴト服ラボ」がコーディネートサポートする新プロジェクトを始動～

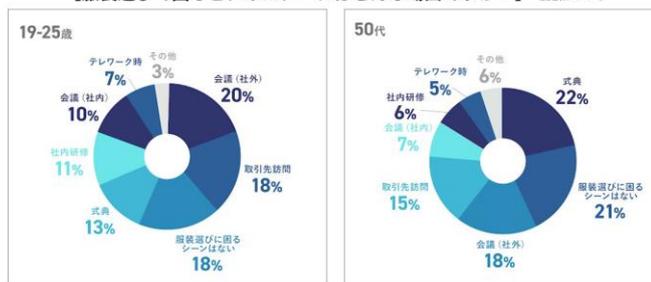
青山商事株式会社（本社：広島県福山市／代表取締役社長：青山^{おきむ}）は、洋服の青山とNewsPicksユーザーの共創コミュニティ「シン・シゴト服ラボ」と協働で、洋服の青山アプリ会員（学生を除く）10代～60代の男女を対象に“仕事服についての意識調査”を実施しました。合計4,763名から回答を得られ、本日10月26日（木）から調査結果の詳細をメディアプラットフォーム「note」にて公開します。

©noteURL：https://note.com/shinshigoto_lab/n/n912cfa10bbb2

昨今、働き方が多様化し、仕事服の選択肢も広がっています。その一方で各企業によっては、服装指定や服装規定などで一定のルールがあるものの、社風や常識、暗黙のルールにより、働く際の服装について悩む声もあがっています。そこで今回、ビジネスウェアに関するリアルな悩みを調査するため、アンケートを実施しました。※小数点以下は四捨五入



【服装選びで困るビジネスシーンはどんな場面ですか？】（回答数：4542）



※シン・シゴト服ラボ調べ

■服装で悩むビジネスシーンは年代によって違いも

勤めている会社に服装のガイドラインがある、または暗黙のルールがあると回答した方は、約8割。暗黙のルールがあると回答した方のうち、約半数がビジネスカジュアルのOKラインがわからない・コーディネートに困るなど服装の悩みがあると回答しました。また、どのようなシーンで服装に悩むかを年代別で見ると、50代は式典であるのに対し、新入社員含む若手社員の約4割が会議や訪問など社外に出向く際に悩んでいることが明らかになりました。

今回の結果を受け、共創コミュニティ「シン・シゴト服ラボ」は、新入社員の仕事着の悩みに着目。以前取り組んだ就活時の服装に悩む学生をサポートする「#きがえよう就活」プロジェクトに続く新プロジェクトとして、「#つながるシゴト服」プロジェクトを始動します。



このプロジェクトでは今後、特設サイトを立ち上げ、ビジネスパーソンが安心してシゴト服を選べるよう、それぞれの業種やビジネスシーンごとのリアルなコーディネートを紹介していきます。若手社員を中心に幅広い年代のビジネスパーソンにとって参考となるコンテンツをコミュニティメンバーとともに考え、発信していくことで服装の悩みを軽減できるよう取り組んでいきます。

スーツに、もっと進化を。



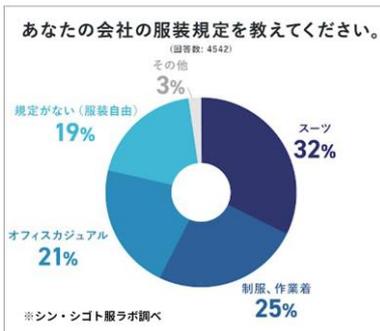
■仕事服についての意識調査概要

- ・調査方法：オンラインによる調査
- ・調査対象：洋服の青山アプリ会員（学生を除く）10代～60代の男女
- ・回答数：4,763名
- ・調査期間：2023年8月16日～8月23日の8日間

■アンケート結果（一部抜粋）

1) 企業の服装指定について

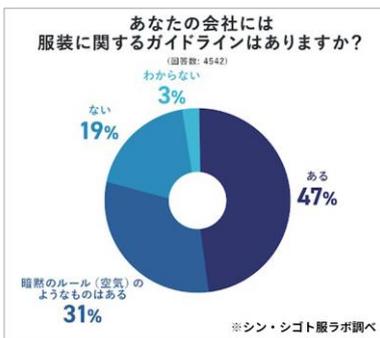
スーツ・制服・作業着 = **57.0%** オフィスカジュアル・服装自由 **40.0%**



スーツや制服・作業着など、なんらかの服装規定があると回答した方が約8割。
服装規定がない（服装自由）は約2割という結果になりました。
(複数選択可)

2) 企業における服装に関するガイドラインについて

ある = **47.0%** 暗黙のルール「空気」のようなものはある **31.0%**



「暗黙のルールのようなものはある」と回答された方の服装に関する悩み

- 1 ビジネスカジュアルのOKラインがわからない
- 2 コーディネートがわからない
- 3 価格
- 4 社外と社内のカジュアル度の違い
- 5 色・柄のOKラインがわからない

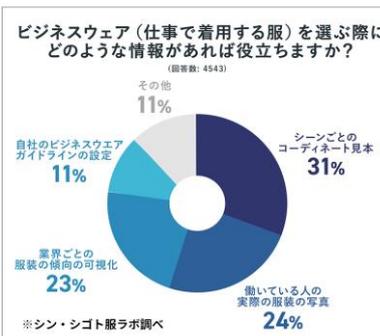
この問いに対して、約半数が「ある」と回答。

次に多い回答が「暗黙のルールのようなものはある」。この「暗黙のルールのようなものはある」と回答した方のうち、約5割は服装についての悩みがあると回答しており、

多い悩みは「ビジネスカジュアルのOKラインがわからない」「コーディネートがわからない」となっています。

3) ビジネスウエアを選ぶ際に役立つ情報について

ビジネスシーンごとのコーディネート見本 = **31.0%** 実際に働いている方の写真 **24.0%**



ビジネスウエアを選ぶ際にあると役立つ情報として全世代に共通し、上位にランクインしたのは、

「シーンごとのコーディネート見本」「働いている人の実際の服装の写真」「業界ごとの服装の傾向の可視化」

特に新卒の年代である20代前半は、他のどの年代よりも「シーンごとのコーディネート見本」があれば役立つと回答した割合が多い結果になりました。

スーツに、もっと進化を。



■プロジェクト担当者コメント



「#つながるシゴト服」プロジェクト運営

青山商事（株）リブランディング推進室室長補佐 宇塚雄祐

このプロジェクトを通じて、様々なビジネスシーンにおける服装への不安や悩みを解消したいと思っています。多くのビジネスパーソンが自信を持ってシゴト服を選ぶことのできる世の中を目指してまいります。

■「シン・シゴト服ラボ」のこれまでの活動

2021年

リモートワーカーに向けた商品開発プロジェクト



リモートワーカーの仕事快適性を求め、シゴトの時に本当に着たいと思える服「WAGAMAMA JACKET」をつくるプロジェクト

2021年

外勤ワーカーに向けた店舗活用プロジェクト



「洋服の青山」の店舗スペースを有効活用して、現代のビジネスパーソンが抱える課題の解決を目指すプロジェクト

2022年

「#きがえよう就活」プロジェクト



「これ“が”いい」と自分の意思で就職活動における装いを選ぶために、「#きがえよう就活」を合言葉に、日本の就活を「きがえる」プロジェクト

「#きがえよう就活」プロジェクトサイト URL : <https://www.y-aoyama.jp/kigaeyou-shukatsu/>

■共創コミュニティ「シン・シゴト服ラボ」



「シン・シゴト服ラボ」は、洋服の青山と共創コミュニティ支援サービス NewsPicks Creations が運営する『ビジネスウェア 3.0 を定義する』をミッションに掲げるコミュニティです。いま、働き方の選択肢が増え、価値観が多様化する中、新しい時代の「ビジネスウェアの在り方」をビジネスパーソンとともに模索し続けていきます。

◎URL : <https://shigolab.creations.newspicks.com>

■「#つながるシゴト服」プロジェクト



- ・人と人が「つながるシゴト服」自分のシゴト服が明日の誰かのコーディネートに
 - ・自分の1週間が「つながるシゴト服」昨日・今日・明日の自分のコーディネートを見つける
- 私たちが目指すのは、働く人だれもが自信を持ってシゴト服を選べる未来。「シゴト服、明日なにに着よう」を解決するプロジェクトです。